

# 特集：分析表の設定と出力 (NL・FA)

今号では、分析コードを基にした、費用明細書などの分析表を SunSystems から出力するための設定方法を特集いたします。

## 1.必要な分析表などを必要な時に即座に設計・出力

前号では、コラムを [SL] 財務報告書設計 (Statement Layouts) で設計し、行を [LC] 財務報告書行内容設計 (Statement Line Contents) で設計する損益計算書の作成をご説明しました。

今号でご紹介する帳票は、コラムと行の両方の設定を [SL] の画面とよく似た [NL] 財務分析表 (Analysis Layouts) という画面で行います。

行の設計を簡素化することで、複雑な集計などはできなくなりますが、その分設計が簡単になり、費用明細の分析表などを必要な時に、即座に設計・出力することができます。短縮

## 2.こんな帳票を作るには

ここでは、サンプルとして従業員別経費内訳表の作成をご説明します。

### ● サンプル：従業員別経費内訳表

Aサンプル株式会社		従業員別経費内訳表 (予算費)		
会計期： 05/2009		当月	当月予算	予算差異
田中	001			
広告費	8310	150,0000	200,0000	50,0000
交際費	8320	15,6000	80,0000	34,4000
事務用品費	8330	7500	10,0000	9,2500
備品費	8340	0	1,5110	1,5110
旅費交通費	8350	25,8000	30,0000	4,2000
海外渡航費	8360	1,256,0000	1,500,0000	244,0000
交際費	8370	0	0	0
図書費	8380	15,0000	20,0000	5,0000
会議費	8390	98,0000	100,0000	2,0000
合計 田中		1,591,1500	1,941,5110	350,3610
鈴木	002			
広告費	8310	300,0000	200,0000	100,0000
交際費	8320	67,5600	50,0000	17,5600

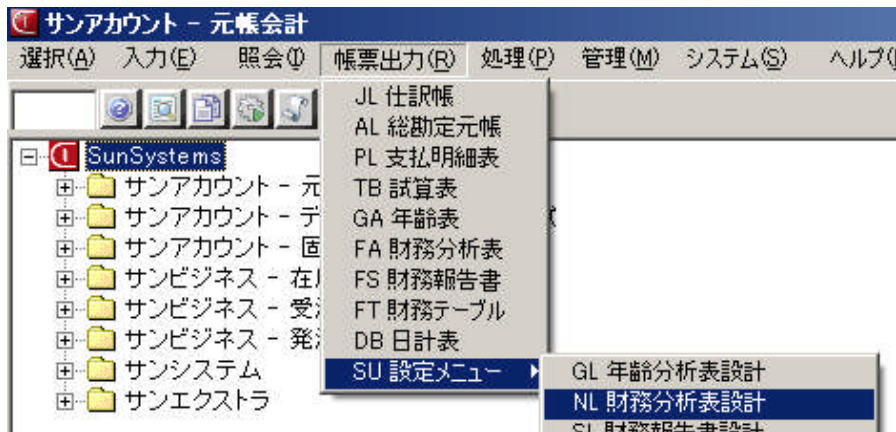
### 2-1.基本

この帳票を作るためには、[NL] 財務分析表 (Analysis Layouts) の画面で設定を行います。

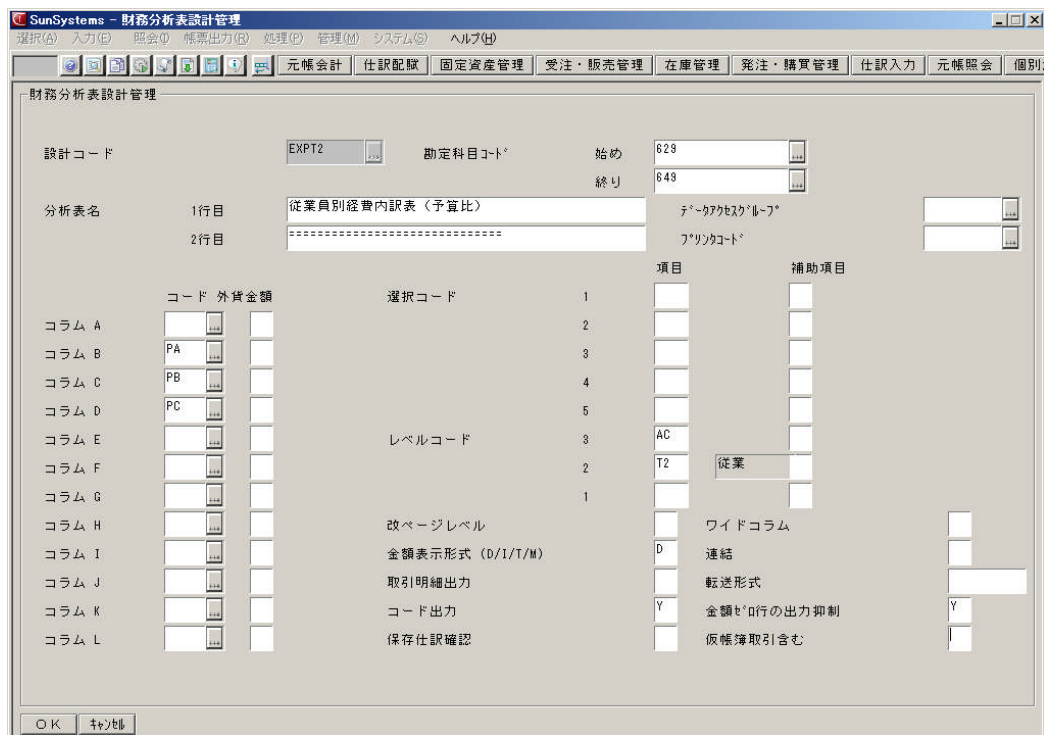
### 2-2.[NL] 財務分析表 (Analysis Layouts)

「NL」の画面を、「LA=元帳会計 (Ledger Accounting)」から開きます。

- 「LA」へ移動した後、「帳票出力 (Reports)」→「SU 設定メニュー(SU Setup Menu)」→「NL=財務分析表設定 (Analysis Layouts)」を選択します。



- 「NL=財務分析表設計管理(Analysis Layouts)」の画面で、「選択(Action)」より「C=新規作成(Create)」を選択し、各項目を設定していきます。



以下、各設定項目の要約を説明します。

① 設計コード(Layout Code) 最大 5 文字 <EXPT2>

これは、印刷を実行 ([FA] 財務分析表(Financial Analysis)) するとき指定するコードです。作成する帳票の短縮名称を任意で設定します。

②分析表名 行 1 および 2(Report Name Line 1& 2) 各 30 文字  
 報告書の表題を 1 行目、2 行目にそれぞれ設定します。(2 行目は空白可)

1 行目 <従業員別経費内訳表 (予算比) >  
 2 行目 <===== >

帳票の以下の部分にそのまま表示されます。サンプルは 2 行目が点線になって  
 いますが文字を入力しても OK です。

A サンプル株式会社		従業員別経費内訳表 (予算比)			
会計期: 05/2009		コラム A	コラム B	コラム C	コラム D
田中			当月	当月予算	予算差異
001	8310	150,000	200,000	50,000C	
広告費	8320	15,600D	80,000D	34,400C	
交際費					

③コラム A-L (Column A-L)12 コード  
 これは、元帳の金額をどの列に、いつの会計期で集計するかを指定します。  
 (コラムコード一覧表参照)

コラム A < >

コラム A (帳票の 1 列目) に各行のコード (勘定科目コードや分析コード) を表示させたい場合、空白とします。

コラム B <PA > 当月実績  
 コラム C <PB > 当月予算  
 コラム D <PC > 実績・予算差異

●コラムコード一覧表

項目名	当月	四・半期	累計	残高	予測	月別
実績	PA	QA	YA	BA	FA	SA
予算	PB	QB	YB	BB	FB	SB
実績・予算差異	PC	QC	YC	BC	---	---
実績・予算差異率(C/B)	PD	QD	YD	BD	---	---
前年実績	PE	QE	YE	BE	---	---
当年・前年実績差異	PF	QF	YF	BF	---	---
当年・前年実績差異率	PG	QG	YG	BG	---	---
前年実績	PH	QH	YH	BH	---	---
当月・前年実績差異	PI	QI	---	BI	---	---
当月・前年実績差異率	PJ	QJ	---	BJ	---	---
当年年間累計	---	---	YK	BK(期末)	---	---
当月年間累計予算	---	---	YL	BL(期末)	---	---
借方実績	PM	---	YM	---	---	---
貸方実績	PN	---	YN	---	---	---
構成比	PR	QR	YR	BR	---	---
期首	---	---	---	BS	---	---

↳ 四半期の他半期等、期間指定可

#### ④ 勘定科目コード 始め/終り (Account Code | From To)

帳票上で分析の対象となる取引を含む勘定科目コードの範囲を指定します。空欄にすると、すべての勘定科目が対象となります。

サンプルでは「広告費」から「会議費」までの販売費および一般管理費の範囲を指定しています。

前号でご紹介した損益計算書では、行を [LC] 財務報告書行内容設計 (Statement Line Contents) で設定しましたが、今回の従業員別経費内訳表では、行の設定をここで勘定科目の範囲を指定する形で行います。このため、複雑な集計などはできなくなりますが、その分設計が簡単です。

#### ⑤ 選択コード (Selection Code) 1-5

選択コードは、元帳から帳票に金額を抽出する際に、どの分析項目を条件とするかを設定する項目です。

ここでは分析項目を設定し、具体的なコードは、帳票の印刷を実行 ([FA] 財務分析表 (Financial Analysis)) する際に指定します。

例えば、下記のような分析項目とコードが設定されているとします。

分析項目	T2[従業員]	分析コード	001 [田中]
			002 [山本]
			003 [佐藤]

選択コードに T2 を設定した場合、帳票の印刷時に、条件とする分析コードの範囲が求められます。その際、出力範囲の始め「001」、終り「002」と指定すると、001[田中]さんと 002[山本]さんの 2 名分の経費が集計されて出力されます。今回のサンプルは従業員毎に出力するためこの設定は空白とします。設定できる選択コードは、T0~T9,A0~A9,AC (勘定科目コード)、JT=入力伝票形式、JS=仕訳入力者、AL=消込記号、CV=換算コードなどがあります。

#### ⑥ レベルコード (Level Code) 1-3

レベルコードは選択コード同様に、金額の抽出条件です。

選択コードとの違いは、選択コードが集計されるのに対して、レベルコードは選択したコード毎に帳票が分かれて出力される点です。

また、レベルコードは階層構造になっています。

サンプルでは、勘定科目：費用 (レベルコード 3) ごと従業員 (レベルコード 2) ごとの帳票が出力されます。

有効なレベルコードは、T0~T9,A0~A9,AC (勘定科目コード)、JT=入力伝票形式、JS=仕訳入力者、AL=消込記号、CV=換算コードなどがあります。

レベルコード 3 は必ず設定しなければなりません。

\* 帳票上の出力順は、登録されている各コードの昇順に出力されます。

T2	田中	001		
	AC	図書費	8320	
		交通費	8370	
			↓	
T2	鈴木	002		
	AC	図書費	8320	
		交通費	8370	
			↓	

#### ⑦ 金額表示形式

表示する金額の位を指定します。基本通貨が円で、小数点以下なしで表示する場合には、空白、D、Iのどれを指定しても同じです。千単位の場合にはT、百万単位の場合にはMを設定します。(省略桁は四捨五入となります)

#### ⑧ 取引明細出力(Report Transaction) Y/空欄

帳票に取引明細を表示したい場合は「Y」を設定します。

#### ⑨ コード出力(Report Codes) Y/空欄

勘定科目コードや分析コードを出力したい場合は「Y」を設定します。ただし、コラムコードAを空欄にする必要があります。

#### ⑩ ワイドコラム <Y>

金額表示の桁数(コラムの幅)を指定します。  
Yは15桁、空白の場合には9桁の幅で印刷します。この桁数は千単位区切りのカンマを除いた桁数です。

#### ⑪ 転送形式(Transfer Format) 最大5文字

「LOTUS」と入力すると、文字列をダブルコーテーションで囲み、各項目をカンマ区切りしたエクセルで読み込めるデータを作成します。  
いわゆるCSV形式のファイルです。ファイル名は「FT〇〇.PRN」となり、〇〇には設計コードが入ります。

#### ⑫ 金額ゼロ行の出力抑制(Line Zero Suppress)

帳票出力する際、金額が全て“0”の行を全く出力しない場合<Y>を設定します。金額が全て“0”であってもそのまま出力する場合、空白にしますが仕訳が1件も発生していない科目についてはどちらの設定でも出力されません。

#### ⑬ 仮帳簿取引含む(Rough Transactions)

Y: 仮転記処理及び正式転記した仕訳データを対象にして帳票を作成する場合  
R: 仮転記処理の仕訳データのみを対象にして帳票を作成する場合  
空白: 正式転記した仕訳データのみを対象にして帳票を作成する場合  
※ 仮帳簿を使用している場合には、Yを設定しないと本転記分のみで帳票を作成してしまいます。

### 3. 帳票を印刷する

[FA] 財務分析表(Financial Analysis)より帳票を出力します。

#### ① 設計コード(Layout code)

設計コードに[NL]で設定した設計コードを指定します。

#### ② 補足帳票名(Supplementary title)

帳票のタイトルの3行目を追加する場合、入力します。不要な場合は空白。

#### ③ 転記会計期(Accounting Period)

出力したい会計期の範囲を指定します。

#### ④ 選択コード 1-5(Selection Code)

[NL]で「選択コード(Selection Code)」を設定した場合、その分析項目のヘッダーが表示されるので、コードを範囲指定します。

「選択コード(Selection Code)」を設定していない場合は、「レベルコード(Level Code)」で設定したコードの範囲指定を聞いてくるので、範囲指定します。

#### ⑤ 出力指示をする

「選択(Action)」より「P=プリンター出力(Printer)」もしくは「S=ディスク出力(Store on disk)」を選択し、設定した帳票を出力します。

以上